

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月19日

(宛先) 高槻市長 殿

提出者

住 所 大阪市中央区本町3-5-7

氏 名 清水建設株式会社 関西支店
専務執行役員支店長 山下 浩一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6263-2846

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	清水建設株式会社 関西支店 (主な事業所 新名神高速道路 梶原トンネル工事)
事業場の所在地	大阪市中央区本町3-5-7 (主な事業所 大阪府高槻市梶原地先)
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 13,113,435,743円
③従業員数	603名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・解体工事 がれき類(コンクリート塊)→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 - 木くず→再生処理業者に委託し、チップ(合材用、燃料用)として再資源化 ・道路建設工事(舗装工事) がれき類(アスファルト・コンクリート塊) →再生処理業者に委託し再生骨材として再資源化 ・杭工事他 建設汚泥→再生処理業者に委託し、処理土として再資源化

収	受
令和	-7.6.19
高市資第	号
本	高槻市

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による
	排出量	t
	（これまでに実施した取組） ・工法の改善 ・実寸発注の実施 ・リサイクル率の高い業者の選定 ・梱包材の簡素化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による
	排出量	t
	（今後実施する予定の取組） 上記に加え、下記の取り組みを実施予定 ・ユニット化持込 ・維持修繕しやすい構造、部材等の採用 ・分別のさらなる徹底 ・部材PC化の推進	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず・金属くず・ガラス陶磁器類・廃石膏ボード・廃プラスチック・コンクリートがら・がれき類・アスファルトコンクリート類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチックについて、さらに有効な細分化をして分別する予定

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

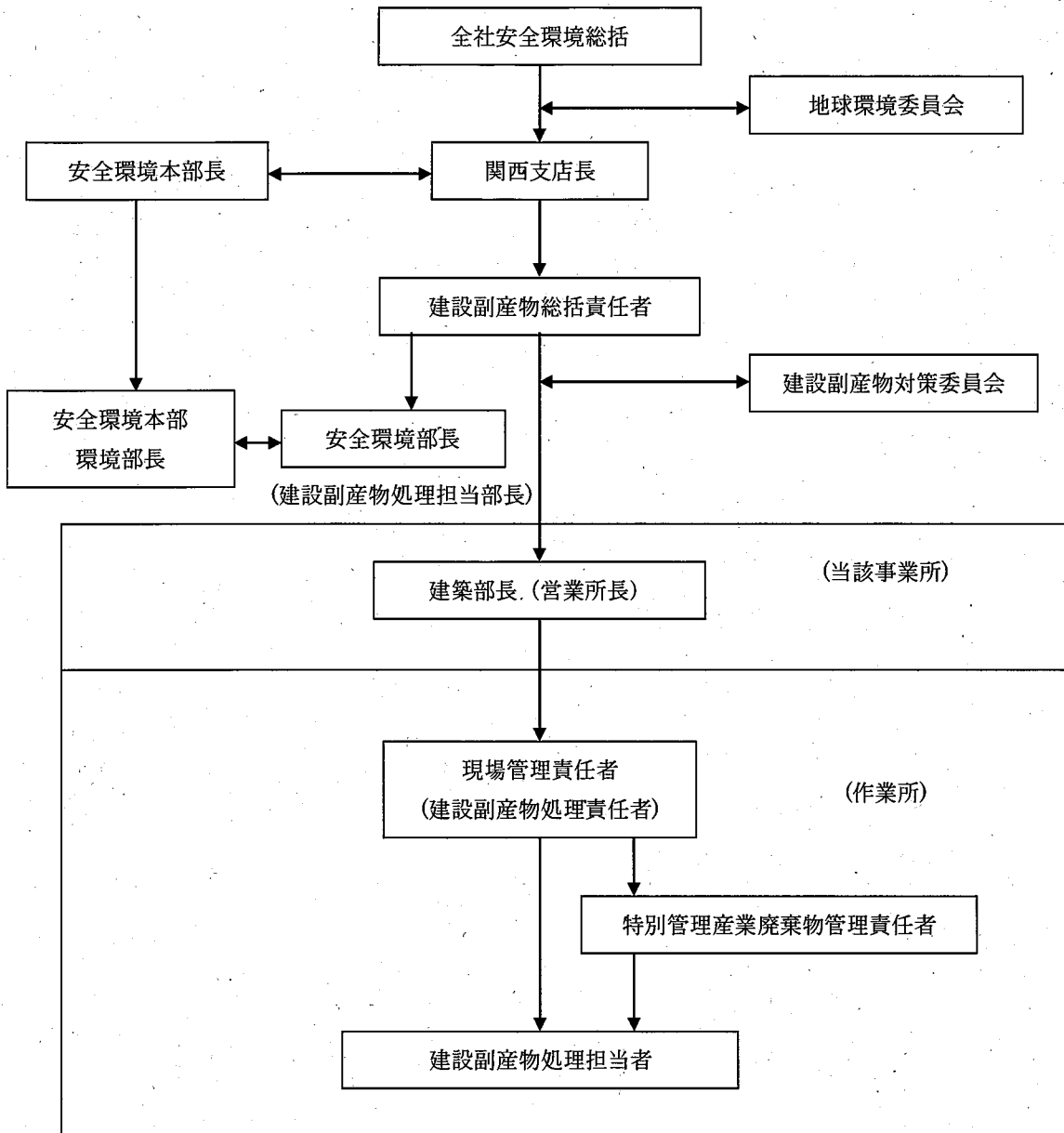
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙集計表による	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・再資源化率の高い事業者を選定している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙集計表による	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・各業者に対して優良認定を取得するよう指導する。 ・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。 ・リサイクル率の高い処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図



前 年 度 【 令 和 6 年 度 】 実 績

産廃業者の種別		計 画 の 基 準										備 考			
コード	名 称	①排出量	②自ら発生 処理利用した量	③第三者に譲渡 処分又は再処理 処分した量(ト)	④自ら中間処理 した量(ト)	⑤④のうち 再処理を行った量 (ト)	⑥自ら中間処理 により削減した量 (ト)	⑦自ら中間処理 した量の削減 (ト)	⑧自ら中間処理 した量の削減 (ト)	⑨自ら中間処理 した量の削減 (ト)	⑩自ら中間処理 した量の削減 (ト)	⑪①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩	⑫①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩	⑬①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩	⑭①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩
		(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)	(ト)
コード 参照	産廃業者の種別	発生した産廃業者 の種別ごとの量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量	①の量のうち、中間処理 施設を有する事業者 に委託した量
1	221 ①建設汚泥	2,896										2,896			
2	800 ②廃プラスチック類(下 記以外)	45										45			
3	711 ③ダンボール	0.2										0.2			
4	810 ④建設工事の水ぐず	716										716			
5	1300 ⑤ガラスくず等(下記 以外)	205										205			
6	1322 ⑥廃石膏ボード	208										208			
7	1323 ⑦ALC(軽量気泡コン クリート)	0.3										0.3			
8	1500 ⑧がれき類(下記以 外)	147										147			
9	1501 ⑨コンクリート破片	2,461										2,461			
10	1502 ⑩アスコン破片	151										151			
11	2020 ⑪管理型建設系混合 廃棄物	1,135										1,135			
12	2440 ⑫石粉含有がれき類	28										28			
13															
14	⑬														
15	⑭														
16	⑮														
17	⑯														
18	⑰														
19	⑱														
20	⑲														
合計		7,992	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,992	3,327	0	3,676

(注)1)ト未満は四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載可。
(注2)上記の産廃業者の種別以外の産廃業者が所有する場合は、必要に応じて、産廃業加入区分とともに、第9面も追加してください。

今年度【令和7年度】目標

事業実施の概要		事業実施の状況										事業実施の成果		
コード	事業実施の概要	①計画	②計画	③計画	④計画	⑤計画	⑥計画	⑦計画	⑧計画	⑨計画	⑩計画	⑪計画	⑫計画	⑬計画
		計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
1	221 建設汚泥	2,320										2,320		0
2	600 焼ガラスチップ類(下記以外)	40										40		0
3	711 ガンボール	0.2										0.2		0
4	810 建設工事の木くず	570										570		0
5	1300 ガラスくず等(下記以外)	100										100		0
6	1322 焼石膏ボード	170										170		0
7	1323 ALG(軽量気泡コンクリート)	0.3										0.3		0
8	1500 がれき類(下記以外)	120										120		0
9	1501 コンクリート破片	1,970										1,970		0
10	1502 アスコン破片	120										120		0
11	2020 管理施設系混合焼棄物	910										910		0
12	2440 石綿含有がれき類	20										20		0
13														0
14														0
15														0
16														0
17														0
18														0
19														0
20														0
合計		6,341	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,341	0	0

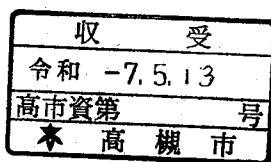
(注)1)「未測」は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月13日	
（宛先）高槻市長	
提出者 住 所 大阪府高槻市松川町11番7号 氏 名 新三和生コン株式会社 代表取締役 作才博義 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 072-675-5585	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	新三和生コン株式会社
事業場の所在地	大阪府高槻市松川町11番7号
計画期間	令和7年4月1日より令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21:窯業・土石製品製造業
②事業の規模	売上 105,000万円（令和6年度）
③従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	【戻りコン・残コン・余剰スラッジ】 ・骨材回収装置にてスラッジ水と骨材に分級する。 ・スラッジ水はフィルタープレスにて固形化し、産業廃棄物として業者に処理を依頼する。 ・回収された骨材は、固化汚泥として処理する。 ・処理業者については地方自治体により許可された業者とし、契約書面を交わす。

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 公害防止統括者 (経営者) ⇔ 公害防止管理者 (工場長) ⇔ 公害防止担当者 (資材係) ⇔ 処理業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	固化汚泥	
	排出量	3601 t	t
	（これまでに実施した取組） 生コンクリート荷卸し時の完全排出を敢行する。 フィルタープレスの更新		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	固化汚泥	
	排出量	980 t	t
	（今後実施する予定の取組） 生コンクリート荷卸し時の完全排出を敢行するとともに、現場との連絡を密にして、戻りコン・残コンの削減に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 固化汚泥と脱水ケーキに分級している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①の現状と同じ。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	固化汚泥	
	全 処 理 委 託 量	980 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	980 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 生コンクリート荷卸し時の完全排出を敢行するとともに、現場との連絡を密にして、戻りコン・残コンの削減に努める。		
※事務処理欄			

(

(注1)トニ未済は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記数は可。

(注1)トニ未済は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記数は可。

今	年	年	度	【平	成	年	度】	目	標
1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963

[illegible][illegible]

(注1) トン来演は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025年 6 月 24 日

（宛先）高槻市長

提出者

住 所 大阪府高槻市三箇牧1-25-3

氏 名 世紀東急工業株式会社大阪営業所

所長 吉留徹

電話番号 072-678-0173

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	世紀東急工業株式会社大阪営業所
事業場の所在地	大阪府高槻市三箇牧1-25-3
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	年間完成工事高 1,102,200千円
③従業員数	17名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路・駐車場施設等建設工事（舗装、構造物工事） がれき類（アスファルト・コンクリート塊） →再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 建設混合廃棄物 →再生処理業者に委託して選別の上、各種再生材、原料として再資源化または最終処分委託

（日本産業規格 A列4番）

収 受
令和 7.6.24
高市資第 号
本 高 槻 市

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙管理体制表の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物
	排出量	1972 t	4 t
	(これまでに実施した取組) 工法改善の提案(公共工事以外)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物
	排出量	1300 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 上記方策に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類は分類の上(アスファルト・コンクリート)、委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別可能な建設廃棄物は、自ら行い委託処理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず			
0.75 t	t	t	t

②計画

紙くず			
0.5 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）実施予定無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	1972 t	4 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1972 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に則して、廃棄委託業者を選定し、書面契約を実施		

(第4面) -2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず			
0.75 t	t	t	t
t	t	t	t
0.75 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

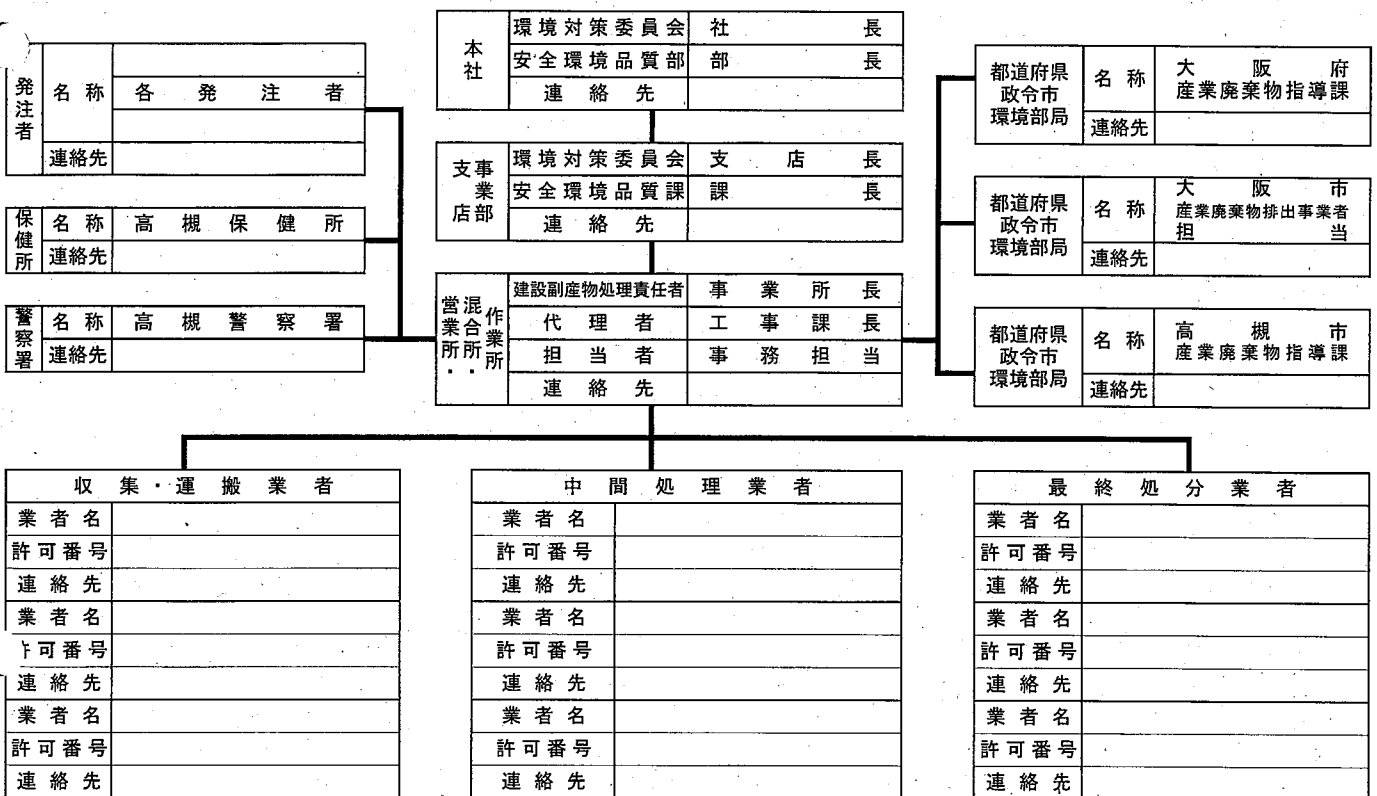
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	1300 t	3 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1300 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 排出された産業廃棄物が再生利用されるように推進し、優良認定処理業者の選定、再生資材の積極利用といった対策を通じて、環境保全に寄与していきたい		
※事務処理欄			

②計画

紙くず			
0.5 t	t	t	t
t	t	t	t
0.5 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

『建設副産物の適正処理と有効利用を徹底し、快適な生活環境の資源循環型社会構築に寄与する』

建設副産物管理体制表



前 年 度 【 令和 6 年 度】 実 績

生産所		操出荷		電話番号		FAX		電子メールアドレス	

(注1)①～⑩は計画数量の達成率であり、数字が有数の場合は小数点以下3桁まで記載可。

今年度【令和7年度】目標

事業実施の概要		事業実施の状況										事業実施の成果	
コード	事業実施の概要	①事業実施の概要	②事業実施の概要	③事業実施の概要	④事業実施の概要	⑤事業実施の概要	⑥事業実施の概要	⑦事業実施の概要	⑧事業実施の概要	⑨事業実施の概要	⑩事業実施の概要	⑪事業実施の概要	⑫事業実施の概要
1	1502 アスコン破片	1,300										1,300	0
2	2010 安定期建設系選	3										3	0
3	30700 紙くず	1										1	0
4													0
5													0
6													0
7													0
8													0
9													0
10													0
11													0
12													0
13													0
14													0
15													0
16													0
17													0
18													0
19													0
20													0
合計		1,304	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,304	0

(注1)1000未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月13日

（宛先）高槻市長

提出者

住 所 門真市岸和田4-10-1

氏 名 中井エンジニアリング株式会社
東部導管営業所 所長 大石 伸也

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-883-8121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高槻市 管轄内事業所
事業場の所在地	高槻市 管轄区域内
計画期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06： 総合工事業
②事業の規模	工事収益 3,396,603,000円
③従業員数	52人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場掘削にて発生 → 収集運搬 → 処理施設にて処理 アスコン破片 コンクリート破片 (おもに破砕)

収	受
令和	-7.6.13
高市資第	号
本	高槻市

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物管理推進体制表

本社及び運営営業所

本社

環境管理責任者
安全品質管理部長

本社

管理推進者
安全品質管理部

現場

業務別担当者
工務課長

営業所

管理責任者
運営部所長

営業所

業務別担当者
管理課

情報管理
マニフェスト 管理システム

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和06年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	排出量	1747.67 t	43.14 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 非開削工法での道路掘削の軽減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	1800 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 引き続き非開削工法での道路掘削の軽減を予定 ・ 本復旧面積の縮小 全面復旧面積縮小 可能であれば半面復旧		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 残土とアスコン破片、コンクリート破片を分別して収集運搬している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 昨年同様、残土とアスコン破片、コンクリート破片を分別して収集運搬を行う。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和05年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	全処理委託量	2104.82 t	7.6 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2104.82 t	7.6 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	・非開削工法での道路掘削の軽減		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1800 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1800 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・引き続き非開削工法での道路掘削の軽減を予定		
※事務処理欄			

前 年 度 【令和6年度】 実 績

事業実施の経緯		計 画 の 進 捗 状 況										出 発 点		担 当 者		電 話 番 号		FAX		電子メール	
コード	事 業 名	①計画立案 の経緯と目的	②計画立案 の経緯と目的	③計画立案 の経緯と目的	④計画立案 の経緯と目的	⑤計画立案 の経緯と目的	⑥計画立案 の経緯と目的	⑦計画立案 の経緯と目的	⑧計画立案 の経緯と目的	⑨計画立案 の経緯と目的	⑩計画立案 の経緯と目的	⑪計画立案 の経緯と目的	⑫計画立案 の経緯と目的	⑬計画立案 の経緯と目的	⑭計画立案 の経緯と目的	⑮計画立案 の経緯と目的	⑯計画立案 の経緯と目的	⑰計画立案 の経緯と目的	⑱計画立案 の経緯と目的	⑲計画立案 の経緯と目的	⑳計画立案 の経緯と目的
1	1500 がれき類	1,748																			
2	2000 物	43																			
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
合 計		1,791	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)「」内は前年度実績として記載。数字が有無で表されれば「0」で記載は可。

今年度【令和7年度】目標

事業実施の経緯		事業実施の状況										提出書類				電子メール	
コード	名称	①実施経緯	②実施経緯	③実施経緯	④実施経緯	⑤実施経緯	⑥実施経緯	⑦実施経緯	⑧実施経緯	⑨実施経緯	⑩実施経緯	提出書類		提出書類		電子メール	
		①実施経緯	②実施経緯	③実施経緯	④実施経緯	⑤実施経緯	⑥実施経緯	⑦実施経緯	⑧実施経緯	⑨実施経緯	⑩実施経緯	提出書類		提出書類		電子メール	
コード	事業実施の経緯	①実施経緯	②実施経緯	③実施経緯	④実施経緯	⑤実施経緯	⑥実施経緯	⑦実施経緯	⑧実施経緯	⑨実施経緯	⑩実施経緯	提出書類		提出書類		電子メール	
1	1500 がんき	1,800										1,800					
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
合計		1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,800	0	0	0	0	0

(注1)へん未満は原則として四捨五入、ただし、数字が奇数であれば小数点以下3桁まで記載は可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 1日

高槻市長

提出者

住 所 高槻市上田辺町18番1号

氏 名 大昭工業㈱代表取締役 岸兵太

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-682-6883

収	受
令和	-7.6.-1
高市資第	号
本	高 槻 市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大昭工業株式会社
事業場の所在地	高槻市上田辺町18番1号
計画期間	令和 ⁷ 6 年4月1日～令和 ⁸ 7 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完工高 33,940万円
③従業員数	82人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	その他廃プラスチック→再生リサイクル業者委託 ・建設工事の木くず→再生リサイクル業者委託 ・その他金属くず→再生リサイクル業者委託 ・その他がれき類→再生リサイクル業者委託 ・コンクリート破片→再生リサイクル業者委託 ・アスコン破片→再生リサイクル業者委託 ・管理型建設系混合廃棄物→中間処理業者委託→（最終処分） ・石腸含有建設系混合廃棄物→中間処理業者委託→（最終処分）

（日本産業規格 A列4番）

【前年度（年度）実績】		【前年度（年度）実績】		【前年度（年度）実績】		【前年度（年度）実績】	
産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類	
自ら処理処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	1	自ら処理処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	1	自ら処理処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	1	自ら処理処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	1
①現状		②計画		①現状		②計画	
特になし							
②計画		①現状		②計画		①現状	
実施予定なし							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
【前年度（年度）実績】		【前年度（年度）実績】		【前年度（年度）実績】		【前年度（年度）実績】	
産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類	
全処理委託量	1	全処理委託量	1	全処理委託量	1	全処理委託量	1
優良認定処理業者への処理委託量	1	優良認定処理業者への処理委託量	1	優良認定処理業者への処理委託量	1	優良認定処理業者への処理委託量	1
再生利用業者への処理委託量	1	再生利用業者への処理委託量	1	再生利用業者への処理委託量	1	再生利用業者への処理委託量	1
認定熱回収業者への処理委託量	1	認定熱回収業者への処理委託量	1	認定熱回収業者への処理委託量	1	認定熱回収業者への処理委託量	1
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	1	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	1	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	1	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	1
①現状		②計画		①現状		②計画	
特になし							

【目標】	②計画				②計画					
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	管理型建設系混合廃棄物汚泥	その他がれき	アスコン破片	建設工事の木くず	その他ガラスくず	廃石膏ボード	その他プラスチック	石綿含有建設系混合廃棄物
②計画	全処理委託量	500 t	80 t	50 t	10 t	8 t	3 t	2 t	0.2 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	80 t	50 t	10 t	8 t	3 t	2 t	0.2 t	0.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への熱回収を行う業者の割合	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
特になし										
※事務処理欄										

前 年 度 【 令 和 6 年 度 】 実 績

事業実施の種別		計 画 の 進 捗 状 況										注 所		出 発 地		電 話 番 号		FAX		電 子 メール アドレス	
コード	名 称	① 提出書	② 自己評価書	③ 自己評価書	④ 自己評価書	⑤ 自己評価書	⑥ 自己評価書	⑦ 自己評価書	⑧ 自己評価書	⑨ 自己評価書	⑩ 自己評価書	⑪ 自己評価書	⑫ 自己評価書	⑬ 自己評価書	⑭ 自己評価書	⑮ 自己評価書	⑯ 自己評価書	⑰ 自己評価書	⑱ 自己評価書	⑲ 自己評価書	⑳ 自己評価書
10221	建設予定	14																			
20000	県プラスチック類	1																			
30800	木くず	69																			
41200	金属くず	8																			
51320	ガラス類	11																			
61322	石膏ボード	65																			
71500	その他のがれき	19																			
81501	コンガラ	1,725																			
91502	アスコンガラ	50																			
102010	安定型建設用合衆	6																			
112020	管理型建設用合衆	138																			
122440	石綿含有(がれき類)	16																			
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
合計		2,124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)「」内は前年度実績として四捨五入、ただし、数字が有期であれば小数点以下3桁まで記載は可。

氏名	性別	生年	生月	生日	職業	住所	備考
佐々木 一郎	男	1945	03	15	自営業	東京都千代田区千代田	
佐々木 二郎	男	1948	07	22	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 三郎	男	1952	11	08	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 四郎	男	1955	05	10	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 五郎	男	1958	09	03	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 六郎	男	1961	12	25	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 七郎	男	1964	04	18	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 八郎	男	1967	08	12	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 九郎	男	1970	10	05	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十郎	男	1973	02	28	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十一郎	男	1976	06	14	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十二郎	男	1979	01	09	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十三郎	男	1982	03	21	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十四郎	男	1985	07	16	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十五郎	男	1988	11	04	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十六郎	男	1991	05	27	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十七郎	男	1994	09	11	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十八郎	男	1997	12	02	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 十九郎	男	2000	04	19	会社員	東京都千代田区千代田	
佐々木 二十郎	男	2003	08	07	会社員	東京都千代田区千代田	

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。